

自然観察会 ～紅葉兆し始めた里山に遊ぶ～

区分：講師派遣

日時：2023 年 11 月 15 日（水）

場所：京都市北区京都大学上賀茂試験地

天候：晴れ

主催：京都府教職員互助組合退職互助部

参加者：30 名

当会：講師 3 名



メタセコイア

概要

今回の観察地である京都大学上賀茂試験地は HP によると当初は外国産樹種の導入による樹木見本園の造成地で、外国の植物園や研究所などの種子交換により、マツ属をはじめとして多くの樹種が集められた研究施設です。コースには、在来の里山に見られる樹種以外に、外来の樹種も混在する、他では得られない観察のできるフィールドです。

入り口を入ってすぐの管理棟に集合し全員ヘルメットを着用、観察会の始まりです。

最初は絶滅危惧種のアイナエ、大変小さい個体ですが管理棟の斜面に数多くみられました。事前に芝刈りがされており見られないかもと心配しましたが対象が小さいため難を逃れたようでラッキーでした。

その後、斜面をくだりメタセコイアとラクウショウの林へ、ラクウショウの気根が数多く林立する光景は府内では規模が大きく皆が驚きとともに観察されていました。ちょうどカンレンボクの小さいバナナに似た果実がたくさん落ちていてこれも見ごたえのある対象物でした。ここから林道に入りナガエバナ、アベマキを見ながら登ってゆきます。目の前にヤマコウバシの大木がきれいな黄葉となって迎えてくれます。さらに上ってゆくと今日一番の見ごろを迎えたマルバノキの小さな花が満開になって楽しませてくれました。小さい花が背中合わせになってよく見ないと見逃してしまいそうです。そのわきには大きく切れ込みの入ったシナサッサフラスの真っ赤な紅葉、天気も良く十分な見ごろでした。

しばらく歩くといろいろなドングリの集まった場所に到着、ここで昼食になります。



イチイガシ、アラカシ、アカガシなど多くのどんぐりが見られテーマに事欠かない観察地です。少し上るとスズカケノキ、モミジバスズカケノキが種子をつけておりご存じのスズカケクイズを実施、種子が風によって媒介されることを落ちていた種子を使



ラクウショウ気根

って説明しました。同様に風によって種が飛ぶニワウルシ、希少種クロミノニシゴリなどを観察しながら林道を下り管理棟へ戻ってきました。距離は短いですが濃密な観察会となりました。

今回のコースと主な個体の植栽は図に記載しました。

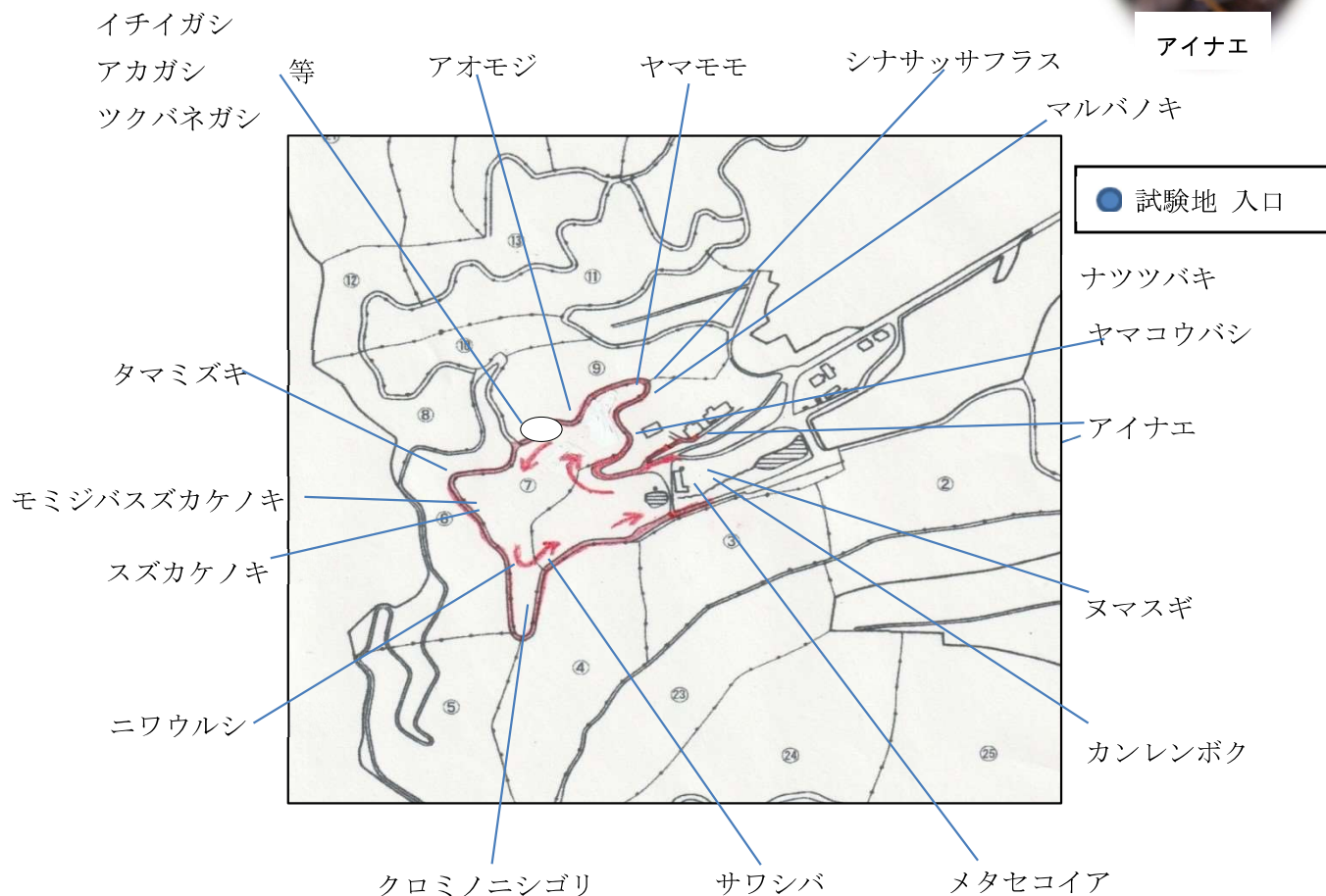
上賀茂試験地 観察コースと植栽



メクリイグチ



アイナエ



アオハダ



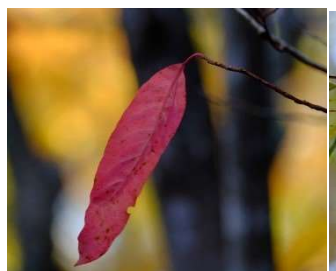
イチイガシ



オキナワスダジイ



カンレンボクの実と葉



スズランノキ



ナガエブナ



マルバノキ



動物が運んできた
チャンチンモドキの種